

大交流・大交易の時代

1 ユーラシア諸地域を結ぶネットワーク

大航海以前の東西交流

16世紀に世界の一体化が始まるはるか以前から、ユーラシア諸地域では、いくつかのルートをつうじて、経済的・文化的交流がおこなわれていた。そのルートとは、内陸アジア北部を東西に結ぶ草原の道、その南の砂漠地帯に点在するオアシス諸都市を結ぶオアシスの道(シルク＝ロード①)、および南方の海上を船で往来する海の道である。

大量の商品を積み替えなしに運べる利点から、16世紀以後の長距離交易では海上交易が陸上交易にくらべて圧倒的な比重をもつようになり、各地域の対外交流の重点も陸から海へと移行していくが、それ以前、とくに10世紀以前は、内陸のルートが活用されていた。これらのルートをつうじて、商品が運ばれるのみならず、宗教や文化も伝わり、遠方の国々に関する情報がもたらされた。



東西交流の三つの道

大交流・大交易の時代

1 ユーラシア諸地域を結ぶネットワーク

大航海以前の東西交流

16世紀に世界の一体化が始まるはるか以前から、ユーラシア諸地域では、いくつかのルートをつうじて、経済的・文化的交流がおこなわれていた。そのルートとは、内陸アジア北部を東西に結ぶ草原の道、その南の砂漠地帯に点在するオアシス諸都市を結ぶオアシスの道(シルク=ロード^①)、および南方の海上を船で往来する海の道である。

大量の商品を積み替えなしに運べる利点から、16世紀以後の長距離交易では海上交易が陸上交易にくらべて圧倒的な比重をもつようになり、各地域の対外交流の重点も陸から海へと移行していくが、それ以前、とくに10世紀以前は、内陸のルートが活用されていた。これらのルートをつうじて、商品が運ばれるのみならず、宗教や文化も伝わり、遠方の国々に関する情報もたらされた。



東西交流の三つの道